

第2期名東区将来ビジョン（ナデシコビジョン2028）（案）

に対する区民意見の内容及び区の考え方

第2期名東区将来ビジョン（ナデシコビジョン2028）（案）に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見と、それに対する区の考え方をお示しします。

なお、ご意見の内容は、項目ごとに分割して掲載しましたのでご了承ください。

1 意見募集期間

令和5年12月6日（水）から令和6年1月15日（月）

2 意見提出状況

提出方法	郵便	ファックス	電子メール	直接持参	合計
提出者数	-	2名	2名	-	4名
件数	-	2件	13件	-	15件

3 意見の内訳

項目	意見数
全体	1件
I 名東区の概要	-
II 名東区の特徴（名東区のやばいところ）	2件
III 第2期名東区将来ビジョン（ナデシコビジョン2028）	1件
IV 基本的な視点	1件
V 5つの将来像と区役所づくり	9件
将来像1 未来につながる 子育てしやすい、子どもが幸せを描けるまち	(3件)
将来像2 ひとの輪がひろがる 助けあいのまち	(3件)
将来像3 地域につながる 安心・安全なまち	(1件)
将来像4 次世代につながる 自然豊かな快適な環境のまち	-
将来像5 笑顔がひろがる 魅力と交流のまち	(2件)
区役所づくり 親しまれ信頼される 区役所をめざして	-
その他	1件

第2期名東区将来ビジョン（ナデシコビジョン2028）（案）

に対する区民意見の内容及び区の考え方

全体（1件）

【区民意見】

- ・評価できる内容だと思います。現在でも充分魅力的ですが、この計画ですらに魅力的になることを願っています。

【区の考え方】

ご期待にお応えできるよう、第2期名東区将来ビジョンに基づきながら着実に区政運営を進め、多くの区民の方に愛着や誇りを持っていただける魅力的なまちづくりを推進してまいります。

II 名東区の特徴（名東区のやばいところ）（2件）

実は人口が減少しています！（1件）

【区民意見】

- ・人口減少を示す表ですがグラフの形状に問題がありますね。
縦軸に数値を入れる場合は「0」から、単位は縦軸の頂点へなど詳しくは法務省統計局のHPをご確認ください。
(子どもたちが学校で習う作表のルールは守ってくださると助かります)

【区の考え方】

ご指摘いただきましたとおり、名東区人口推移のグラフにつきましては、「0」を起点としたグラフに修正いたしました。

子どもが多いと言われる名東区ですが、少子高齢化が進んでいます。(1件)

【区民意見】

- ・少子高齢化の表がパーセントで表記されていますが、具体的に表に人数も入れていただくと「こんなにも増えた(減った)のか」と区民の皆様に分かっていただけるかと思います。

【区の考え方】

多くの区民の皆さまにより関心を持っていただけるよう、ご意見の内容を踏まえ、名東区の人口に占める15歳未満・65歳以上の者の割合の他、15歳未満・65歳以上の人口数も補記させていただきました。

Ⅲ 第2期名東区将来ビジョン（ナデシコビジョン2028）（1件）

【区民意見】

- ・基本理念は、わかりにくい。「人と自然が大切にされる街、名東区」ぐらいでどうでしょう。

【区の考え方】

「5基本理念」の項目内でも記載しておりますが、多様化・複雑化した問題を、行政だけで対処することは難しくなっており、区民、企業、各種団体及び行政の協働・連携によるまちづくりが、これまで以上に求められているため、第1期区将来ビジョンに引き続き、人と人との絆、地域の絆を重視した「つながるまち、ひろがるまち名東」を基本理念とさせていただいております。

ご意見いただいた趣旨につきましては、「将来像4次世代につながる自然豊かな快適な環境のまち」として掲げておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

IV 基本的な視点 (1件)

【区民意見】

- ・カタカナ表記は控える。特に大切な四つの基本的な視点のうち下3つは、分かりにくいです。漢字の使用も、もう少し控える方が読みやすいのでは。

【区の考え方】

カタカナ表記につきましては、国や市が用いている用語などではありますが、外国語由来のものが多く、その表記だけでは分かりづらいところもありますので、例えば、基本的な視点の「②SDGs (持続可能な開発目標)」や「④レジリエンス (回復力、復元力)」など日本語の訳語を併記するといった方法により、できるだけ分かりやすく記載させていただいておりますが、ご意見をいただきまして、再度、将来ビジョンを点検したところ、一部そうした記載が不十分なところがありましたので、下記のとおり、修正させていただきました。

<修正箇所>

将来ビジョン 10 ページ「③DX (デジタルトランスフォーメーション) の視点」の説明文において、「デジタルの活用を前提にあらゆる市民サービスや市役所の業務を変革」の後に「(デジタルトランスフォーメーション)」を、「スマート窓口」の前に「窓口での手続を効率的に行う「待たない・書かない・分かりやすい」をコンセプトにした」を追加。

また、漢字の使用につきましては、読み方が難しい漢字にふりがなを付けさせていただきました。

(例) 【将来ビジョン 2 ページ】 蓮教寺 → ^{れんきょうじ}蓮教寺

V 5つの将来像と区役所づくり (2件)

将来像 1

未来につながる 子育てしやすい、子どもが幸せを描けるまち
(3件)

【区民意見】

- ・ここでの「こども」の対象年齢は何歳でしょうか？
どうしても子育て=小さな子と思いがちですが、子ども期は乳幼時期～学童

期～思春期までの0～18歳まで（医療分野では0～15歳）の年齢を指し示します。夫婦共働きが多くなった現代では本来ならば親の手元で十分な加護を受けられる対象の0歳児も保育園へ行くようになり、親が子どもとだけ籠もる日常は減りつつあります。この現代において、埋もれてしまいがちな状況に小・中学生の問題があります。当区の中学はお弁当制ですが、親の方針や貧困により、お弁当を持ってこられない、成長期の大事な時期に十分な栄養がとれない子どもたちがいます。又、「中二病」「反抗期」などとひとくくりにしてしまうこの時期は身体的心理的問題にも注視して行かなくてはいけない様に思います。親は生活のため、子どものため、自分のため一生懸命働きます。この時にこそ地域の力が必要で「誰かがどこかで自分を見守ってくれている」という環境を自治活動への児童・生徒の参加などを通し築いていけることが望ましい様に思います。

当学区の高針台中学校では今年度初めての取り組みとして、生徒会発案で、地域住民と小6、中2の児童・生徒で「クリーンフェス」と称し、コミュニケーションの足がかりとなるイベントを開催しました。名古屋市全体でも行う街の美化活動など自治活動へも今後は小中学生の参加を促し、共に支え合う名東区（名古屋市）を作っていけたらと思います。

【区の考え方】

子ども・児童の定義は、各種法令等において、20歳未満の者や18歳未満の者、15歳に達した日以後の最初の3月31日が終了するまでの者等様々でございます。そのため、本計画では、画一的に定義はしておりませんが、概ね「子ども」は0歳から15歳、「若者」は16歳から20歳代前半を想定しております。

また、親が子育てを抱え込まず、子どもが健やかに成長していくためには、地域の方々による見守りが大変重要であり、そのためには日頃から子どもたちが地域活動に参加し、顔見知りの関係を築くことが大切であると考えております。

小・中学生等を対象とする子ども会においては、お祭り等の地域活動への参加、資源回収等の社会活動への参加など、子どもと地域がつながる環境づくりの一翼を担っていただいております。

この他、名東区では、毎年6月に全市一斉に行われる「クリーンキャンペーンなごや」の取り組みとして、区内全域での道路や公園の清掃活動を小・中学生にもご参加いただきながら実施しており、子どもと地域がつながる環境づくりを、各自治会にご協力いただきながら進めております。

今後も、各自治会との協働・連携、子ども会への支援等を通して、子どもと地域がつながる環境づくりを進めてまいります。

--

【区民意見】

- ・私の住んでいる地域は社宅もどんどん無くなり、一戸建、分譲マンションが多くなった。
以前のように通勤族の町、子育てするなら名東区というイメージは薄れてきているように思う。
文教区、子育てしやすい名東区であり続けて欲しい。

【区の考え方】

名東区は 16 区中三番目に 15 歳未満人口の割合が多いまちです。この子どもが多いという区の特徴を踏まえた施策・事業を推進することにより、子育てしやすいまちであり続けられるよう、努めてまいります。

具体的には、子どもへ優しい声かけができるように、イライラしない子育て講座や、親子で触れ合えるタッチケアの講座などを開催することにより、子育ての負担感の軽減を図っていきます。

また、子育てサロンなど、親子の居場所づくりを充実させていきます。子育てしやすい区であり続けられるよう、民生委員・児童委員、保育所及び大学などと協働し、引き続き取り組んでいきます。

施策(2) 子どもや若者が地域で健やかに成長できる環境づくりを進めます

【区民意見】

- ・名東区の「絵本でつながる親子の時間」は大変良いスローガンですが、実施事業の受け手があまりにも少人数になってしまっています。
私は保健センターでの「健診時読み聞かせ」（はじめての本との出会い事業）のボランティアをしています。

「健診時読み聞かせ」の意義は、「乳幼児に本を」と思っていない保護者にも健診前の待ち時間で意図せずともおはなし会に参加してもらえることだと思っていました。

この事業は名東保健所では平成 22 年度に始まり、平成 30 年度は 1 歳半・3 歳児健診において年間 59 回実施、1955 名の参加がありました。

コロナ後の健診で以前のようなおはなし会をするのが難しく、令和 6 年度は「健診時読み聞かせ」が再度中止になることは理解し、納得しています。ぜひ多くの親子が参加する、特におはなし会に足を運ばないような保護者の方にも参加してもらえるような事業にお金を使って欲しいと思います。

【区の考え方】

名東図書館のボランティアによる絵本の読み聞かせにつきましては、これまで健診会場で行ってまいりましたが、狭い待合スペースで子どもが動きながらお話を聞くことに伴う事故発生の懸念や、絵本に集中してしまうことによる健診の停滞など、健診と併せて実施することに課題がございました。

そのため、令和6年度以降は、保健センターが実施する乳幼児健診と同日に健診会場に隣接する別会場を設け、名東図書館（教育委員会）が実施する事業として、絵本の読み聞かせ事業を運営していくこととなっております。

なお、区役所が実施する「絵本でつながる親子の時間」事業では、ウェルカム名東や子育てサロンにおいて、絵本の講座を開催しています。さらに、民生委員・児童委員による赤ちゃん訪問の際に絵本をお渡ししています。また、名東図書館及び名東生涯学習センターにおいても親子が絵本に触れ合う機会が設けられています。こうした様々な行事や活動で絵本を活用し、親と親、親と子をつなぐ取組みを実施していきます。

将来像 2 ひとの輪がひろがる 助けあいのまち（3件）

施策(2)高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援します

【区民意見】

・高齢者の孤立防止について

私は現在学区保健環境委員会会長をさせていただいています。市の取り決めで委員を自治会長からご推薦いただく際に「年齢制限」（原則初任時70歳、条件により初任時75歳まで、80歳定年）があります。「私で良ければ委員活動を」「地域の皆さんと関わるきっかけが欲しい」「何かお役に立ちたい」などとおっしゃっていただく方々に年齢を理由にお断りさせていただくのは、とても切ない作業です。又、何かしらの役目は心理的にも「フレイル予防」に繋がります。ジェンダーレスの時代です。そろそろエイジレスにしませんか(*^_^*)。

【区の考え方】

保健環境委員の年齢要件につきましては、これまで、その活動内容等を考慮し、日常生活に制限のない期間の平均である「健康寿命」を参考指標として決められてきました。今回、ご意見いただいた内容につきましては、市役所の担当部署に伝えてまいります。

施策(3)障害及び障害者に対する理解促進と障害者の自立・社会参加を支援します

【区民意見】

- ・障害・障害者に対する理解促進と自立・社会参加について

障害の分類は多岐にわたります。そのすべてを理解することはできないことを認めるところから、共生は始まるように思います。みんな自分の生活に一生懸命で、他者への理解を深めることはできなくて当然です。まずすべきことは、「互いの存在を知ること」です。そして、できるならば「互いの存在を認めること」が大切なように思います。私は義姉に重度身体障害あった経験がありますが、共に暮らしたことで初めて、彼女の意思や感情や思いを知ることができ、又、彼女の死後、他の重度障害者の方と関わりを持とうと思える心のゆとりを得ることができました。地域で24時間介助を受けつつ暮らす重度障害者の方のケアボランティアに息子が出かけるきっかけになったのも、その叔母の様子に接しながら成長したからだと思います。まずは知ってください、あなたの近くにもケアが必要な方が待ってることを。そして、街へ出かけられる障害者の方とも挨拶（言葉）を交わしてください。それが「存在を知る・認める」です。

【区の考え方】

障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重しあい、共に暮らしていける地域社会の実現には、障害や障害者について知るとともに、関わりを持つことが重要であると考えております。

障害を体験する事業の実施のほか、障害者との交流の機会の創出等、ご意見を参考に、さまざまな機会をつながりづくりの取組みを推進してまいります。

施策(4) 地域で共に助けあい、尊重し認めあい、共生し、誰もが幸せを実感できるまちづくりを進めます

【区民意見】

- ・男女平等参画について、啓蒙普及だけでなく具体的な数値目標をお願いします。

【区の考え方】

施策(4)のうち「男女平等参画」につきましては、将来ビジョンでは数値目標を設定いたしません、令和6年度に実施する男女平等参画に資す

るテーマの講演会等の中で参加者アンケートを行い、「男女平等参画について今まで知っていましたか？」という質問を設定し、「よく知っていた」、「まあまあ知っていた」とする回答割合が全体の 50%を超えることを数値目標とします。

将来像 3 地域がつながる 安心・安全なまち (1 件)

施策(1)災害に備え「自助」「共助」「公助」の役割を意識し、迅速かつ的確な対応が行える災害に強いまちづくりを進めます

【区民意見】

- ・大規模災害発生時の救急対応について

近い将来必ず訪れる大規模災害の時に、被災者となるのは住民だけではなく区役所や消防等の職員の方も同じ被災者です。直ぐに、誰かが、助けてくれる、運んでくれる訳ではありません。「誰も来られない」ことを想定して、自主防災活動訓練を重ねる必要があります。又、名古屋市内や近隣に大規模災害時の拠点となる病院はいくつかはありますが、それらは近くにあるわけではなく、住民同士の協力で運べたとしても距離に限界はあります。幸いにも名東区内には、通常業務では救急対応はしてはいませんが、国立東名古屋病院、市大附属みらい光生病院や私立病院など有床の病院が多くあり、その中では「地域への貢献」「大規模災害時の対応」などについて院内で会合を開き、考えてくださっている病院もあります。また、在宅で介護をしている方を一時的にでもみていただける可能性がある居住型の老人介護施設も多くあります。負傷した方のトリアージや骨折や開放創の縫合など遠くの大病院に運ばなくても近くの有床病院で対応をしていただければ、「救える命が増える」と看護師（私自身）の経験からも思います。

そのためにも、可能であるならば大規模災害時を想定した各病院・施設への助成策などを考えていただき、自主防災チームとの連携訓練を行っていきたいです。

【区の考え方】

大規模災害発生時の医療救護につきましては、医師会等の協力により、市立中学校等に医療救護所を設置し、負傷者のトリアージ（災害発生時などに多数の傷病者が発生した場合に、傷病の緊急度や重症度に応じて治療優先度を定めること。）や応急措置を実施することとなっており、名東区では毎年

度、1 中学校区を対象とし輪番で、医師会等と連携した災害時医療救護訓練を実施しております。この他、負傷者が適切な医療救護を受けられるよう、区内の医療機関の被災状況や患者の受入状況などの情報を把握し、受入可能な医療機関の情報を提供してまいります。

また、高齢者や障害のある方など、避難生活において、特別な配慮を必要とする方のためには、バリアフリー化や多目的トイレなどが整備された社会福祉施設等を利用して福祉避難所を開設することとなっております。

災害に備えた自主防災訓練につきましては、自治会・町内会や学区単位で取り組んでいただいておりますが、一部の地域では要支援者やけが人の搬送訓練をしており、今後も継続していただけるよう支援するとともに、地域、関係機関・団体が協働・連携した総合水防訓練や総合防災訓練を実施してまいります。

大規模災害の発生時は、被害が広範囲に及び公助の取り組みに限界があることから、地域の方々による安否確認や避難支援など共助による助け合いがとても重要になると考えております。地域防災力の向上につながるよう今後も、訓練や各種啓発などを通じて共助の取組みを支援してまいります。

将来像 5 笑顔がひろがる 魅力と交流のまち (2 件)

施策(2)生涯を通してスポーツや文化・芸術活動に親しむまちづくりを進めます

【区民意見】

・笑顔が広がる魅力と交流の街について

名東区には高校や大学での文化・スポーツの活動が盛んですが、地元の小学校や中学校、児童クラブなども盛んに活動を行っています。高針台中学校の合唱部は昨年度、今年度と全日本合唱コンクール全国大会に出場し、昨年は銅賞、今年度は金賞＋特別賞を受賞、全国 2 位の成績を修めました。この高針台中学校に限らず名東区内に中学校では、かなり以前から合唱や吹奏楽で数々のコンクール出場・受賞の経験が多くあり、また、学校単位での合唱祭なども盛んに行われています。年に一度、名東区コーラス交歓会には小中の PTA コーラスが集まります。名東区には「合唱の土壌」はあります。高齢者～幼児まで一緒に楽しめ、世代を超えた交流・各世代の孤立の解消・フレイル予防にもなる合唱を「名東区の礎」として行くことは有益であると考えます。

【区の方考え】

ご意見のとおり、名東区内には音楽の部活動が盛んな学校があり、高針台中学校合唱部は近年全国大会に出場されるなど優秀な成績を修められています。区としましても、こういった活動状況を名東区の特長と捉えており、今年度の青少年健全育成区民のつどいにおいて、活動発表として高針台中学校合唱部の合唱演奏を披露していただきました。また、来年度につきましては、区制 50 周年の特別事業として、区内学校吹奏楽部による演奏を区民の皆さまに聴いていただける催事を予定しております。

施策(3)区民が主体となり、多様な協働・連携を進めるまちづくりに取り組みます

【区民意見】

・名東区将来ビジョン（案）では地域と行政との連携などが期待されていますが、地域の主役であるべき自治会の存続そのものが危うくなっています。自治会長をしていますが、住民の高齢化、少子化、生活の多様化の中、「お互い干渉しない関係」意識が広まり、自治会活動に負担を感じて、自治会に関わりたくない住民が大多数です。このため自治会加入率の減少や各種役員等のなり手不足も深刻で、限られた住民で回しているのが実態です。今後、自治会の廃止（消滅？）も有りですが、存続させるとすれば、まずは旧来から惰性で行っている年中行事などは止めたり、簡素化して、負担をできるだけ減らして参加しやすくすること。その上で、ネットやDXの活用した情報伝達や防災対策を進めることも必要です。これらは種々な組織や住民が絡んで地域ではできません。制度の見直しや行政の関与が必要です。「将来ビジョン」にもこれらの実態、課題、展望を反映した記述を期待します。

【区の方考え】

地域活動が抱える大きな課題は、担い手不足であり、その解決のために、負担軽減と活動の効率化を図ることが重要であります。そのためにはICT（インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー（情報通信技術））の活用を進めていくことが必要であり、ICTツールを体験できる体験会とICTにまつわる困りごとの相談に対応する相談会等も名古屋市で新たに開始したところです。加えて、区政協力委員に対する配布物の抑制にも取り組み、負担が大きい組回覧などは必要なもののみとするよう要請し

ております。

これまで「地域コミュニティ活性化推進事業」として、地域における人々のつながりの確保や、新たな担い手の育成、コミュニティサポーターの活用など、地域コミュニティの活性化支援や地域での負担軽減に向けた取組みを実施してまいりました。

令和5年度には、各区1名の相談員を地域力推進室へ新たに配置し、次期将来ビジョンで記載予定の「新たな担い手と学区との橋渡し」を進めてまいりたいと考えております。

また、インターネットやDX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した防災対策として、地震や洪水等の防災情報や、災害時等に徒歩で帰宅する際の帰宅支援情報を、スマートフォンやタブレット端末で確認できる「名古屋市防災アプリ」のほか、市ウェブサイト、市公式LINE、X（旧：Twitter）などさまざまなツールを用いた情報伝達など、インターネットやデジタル技術を用いた防災対策にも努めてまいります。併せて、各学区における効果的な取り組みがあれば積極的に周知を行うなど、地域の実情に合わせた防災対策の拡大やその支援にも取り組んでまいります。

なお、ご意見を踏まえまして、将来ビジョン37ページ4行目「～オール名東区で、複雑化・多様化するまちづくりに取り組んでいきます。」の後に「また、多くの区民がまちづくりの主体となれるよう、町内会・自治会の加入率低下や地域活動の担い手不足といった地域が抱える課題の支援に努めていきます。」と記述を追加いたしました。

その他（1件）

【区民意見】

- ・将来的に、図書館の合築相手は区役所、保健センター、育児相談ができるような施設が望ましいのではないかと思います。

【区の考え方】

図書館のあり方につきまして、所管する教育委員会に対し、いただきましたご意見をしっかり伝えさせていただきますので、ご理解くださいますようお願いいたします。